



福祉事業所見学（小学部職員 進路研修）

7月30日に小学部職員で福祉事業所を見学してきました。小学部では4年前から見学を重ねてきており、今回は就労継続支援B型を中心に3つの事業所を見学してきました。聴覚障害の利用者はいませんが、どの事業所も一定の作業効率や作業製品のクオリティを保ちつつも一人一人の気持ちや体調にあった働き方を保障するなど、個に合わせた対応をしてくださっていました。また、送迎サービスや給食の工夫、生活を彩る様々な行事の計画など、利用者の生活を豊かにする取組が行われていました。一口に「就労継続支援B型」「生活介護」事業所といっても中身は様々です。学校を卒業した後の子どもたちの「生きがい」や「生活の場所」をどう考えるか、ご自身の目で見て感じる事が一番良いことだと思います。事業所は「いつでも見学OK」とのことでしたので、ぜひ保護者の方も足を運んでいただきたいと思います。（ホームページもあります。）

〈あきた結いネット story cat〉

秋田市南通に店舗があり、その2階の一部分がB型の事業所となっていました。利用者の年齢層は広く20代から60代まで様々。多くの方が、何回目かの職場であるとおっしゃっていました。仕事内容はホテル清掃や公園等の清掃、調理活動、イベントの手伝いなど幅広いのですが、どなたも「この職場が大好き」「やりがいがある」「自分の得意なことを生かしている」と自信に満ちた生き生きとした表情で話してくれたのが印象的でした。お店では全国の障害者就労施設で作られた素敵な商品をセレクト販売しています。思わず買ってしまいました。

〈自立支援センター希望園〉

秋田市立泉中学校の近くで、18人ほどの利用者が仕事をしていました（定員20名）。附属支援学校、天王みどり学園、栗田支援学校の卒業生がいました。外部から注文を受け、フルーツキャップ作り、野菜の袋詰め、買い物かご洗浄、ウエス整理などに取り組んでいました。訪問時は自分の仕事に集中して静かな作業場でしたが、本当はもう少しにぎやかだそうです。黙々と進める人、ちょっと仕事しては気分転換の時間をたっぷり取る人、丁寧に製品を点検する人など、一人一人に応じた働き方があるようでした。

〈大潟つくし苑〉

南秋つくし苑大潟分場が、平成22年に大潟つくし苑となりました。就労継続支援B型に生活介護が加わり、利用者によってはそれぞれの活動を経験できるということです。訪問時、生活介護グループは俳句作り、B型の利用者はクッキーの箱詰めなどに取り組んでいました。新しい製菓室で、誕生日のお祝いケーキを作っている利用者もいました。事業所の周りの豊かな畑では果物や野菜等を栽培していて、製菓の材料としてはもちろん、近くの道の駅などにも卸していて、お客さんに大人気だそうです。ゆったりとした時間の中で、利用者さんが自分らしく作業したり生活したりしていました。

（文責 佐藤悦子）



あきた結いネット
story cat



希望園



大潟つくし苑

夏季休業中の進路学習

高等部では毎年6月に職場体験実習を行います。高1は「知る」、高2は「選ぶ」、高3は「決める」と学年ごとに段階的なねらいをもって取り組んでいます。加えて長期休業中には個別の進路学習として進路希望先である県内外事業所の見学や実習を行います。この期間の進路学習は、複数箇所の選定や平時よりも長い期間設定など、個のねらいに応じた取組が可能という利点があります。今年度も各事業所のご協力のもと、進路選択・決定につながる進路学習を実施することができました。

【高2 F・Tさん】会社説明会参加：豊田自動織機（愛知県）

見学では、聴覚障害をもつ全国の先輩方が得意なことを生かしながら、生き生きと働いている様子が魅力的に感じられたようです。その後の懇談会では、先輩方から日々の生活や進路選択をしたときの経験などについても聞くことができ、生徒は「リアルな声を聞くことができ、視野が広がった。今後の進路選択に生かしたい」と振り返っていました。卒業後の職業生活を具体的にイメージする貴重な経験となったようです。（高2担任）

【高3 K・Rさん】会社見学：ユーティーケー工業（秋田市）、東電化工業（大仙市）

【高3 N・Rさん】会社説明会参加：トヨタ自動車（愛知県）

【専2 H・Aさん】職場体験実習：北秋田市民病院（北秋田市）

内容：レストラン厨房での調理補助

【専2 N・Rさん】職場体験実習：トヨタ紡織（愛知県）

内容：事務系業務



レストラン厨房にて↑

↑トヨタ紡織本館ロビー

※卒業学年は実習以外にも登校し、入社採用試験対策に取り組みました。

障害福祉サービス事業所合同説明会（職員進路研修）

9月6日（金）、かがやきの丘会議室を会場に令和6年度障害福祉サービス合同説明会が実施されました。これまで隔年で行われており、今年度は秋田県央地区58事業所、県央地区特別支援学校保護者145名の参加申込みがありました。

当日はフリートーク形式で行われました。サービス種をもとに見当をつけて事業所を渡り歩く方や福祉サービスの内容や事業所について初めて知る方など、求める内容の段階は様々でしたが、その中で“親亡き後”の生活保障という点から入所施設やグループホームについて知りたいという要望がありました。お子さんの学年を伺うと小学部や中学部在籍という方もおり、関心の高さを感じるとともに本説明会開催の必要性を改めて感じました。

（文責 伊藤健人）

発行内容・お問い合わせについて

「しんろだより～道～」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧になってください。

（ホームページURL：<http://kagayaki.akita-pref.ed.jp/chokaku-s/>）

他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に教頭、主事、担任、進路指導部員にお話ください。